

第9回まちづくり市民会議グループワーク発表内容

- 会津若松市のあるべき姿・理想像は？
- 上記を実現するために何が必要か？（下記矢印箇所）

【Aグループ】

○自然・環境・文化

- ・自然を大切にし、人々が豊かに暮らせるまち
- ・ゴミが落ちていないまち
- ・再生可能エネルギーの導入によるスマートシティ
- ・花と緑に囲まれた美しいまち
- ・助け合いができるまち

⇒市民同士が無関心にならないようにする

- 地域コミュニティをつくる
- 声をかけ合える生活をつくる

○経済

- ・お金が循環するまち
- ・外貨を獲得できるまち
- ・財政的に豊かなまち

⇒企業誘致

- 経営者の育成
- 地元高校生全員の雇用の創出

- ・自給自足ができるまち

⇒農業の発展

○福祉

- ・元気なお年寄りが多いまち
- ・親子が仲良く暮らせるまち
- ・助け合いのあるまち
- ・顔の見えるお付き合いのあるまち
- ・コミュニティが保たれているまち

⇒予防、運動、食生活の推進

- 声をかけ合う生活
- 町内会活動の活性化

○子育て・教育・歴史

- ・鶴ヶ城を大切にするまち
- ・歴史を大事にするまち

⇒何歳になっても学ぶことのできる場の提供

- （大人の）あいづっこ宣言の普及
- 教育水準のベースアップ
- 会津の歴史・文化をしっかりと学ぶ
- 道徳教育の推進
- 善悪をつける勇気のしつけ

【Bグループ】

- 全員が参加し協働するまち
 - 安心まち
 - 生きがいを感じられるまち
- 一人一人の意識を変えていく
 - 人任せにしない（自分で自らがやる）
 - 地域のつながり
 - ⇒話し合いの場を設ける（情報共有のために）
 - 人と人との交流により、つながりをつくる

【Cグループ】

- ◎思いやりのある三泣きのまち
 - 会津精神（魂）を引き継ぐまち
 - ・日新館の教えが生きづく
 - ・伝統が生きづく
 - ⇒会津らしい教育
 - 自然と共存するまち
 - ・原発事故の教訓として自然との共存
 - ⇒再生可能エネルギーと市民意識の醸成により無駄をなくす
 - 生きがいのあるまち
 - ⇒多様なライフスタイルを尊重
 - 失敗しても挽回できる仕組み
 - 協働・支え合いのあるまち
 - ・自助、共助、公助が生きているまち
 - ⇒理想の実現に向けた市民間の共通認識の確立
 - 市民間のコミュニケーションの強化
 - 市民・議会・行政の一体化した活動
 - 人の集まるまち
 - ・子供の笑顔が見えるまち
 - ・若者が住みやすいまち
 - ・子供を安心して産み育てられるまち
 - ・思いやりのあるまち
 - ⇒生活維持向上のためのインフラ整備
 - 子育て、介護、障がい者向け施設やソフト面の充実
 - 人口減少の歯止め
 - 若者の雇用創出
 - 会津若松市の特色・個性の確立
 - 住みやすいまち
 - ・住みたくなるまち
 - ・安心して暮らせるまち
 - ⇒持続的な産業育成
 - 核となる産業の確立
 - 市民の行政への関心を高めるための情報発信・啓発

地域住民のコミュニケーションを深める（つながりを作る）
市民目線での政策・施策の推進
市民・地域住民としてできることを協力して行う
世代を超えた交流
本市の特色・魅力の的確な情報発信
地域住民の支え合いの仕組み・環境の構築
地域の支え合いの基盤となる町内会等の運営の担い手の増加

【Dグループ】

○子育て

⇒元保健師・看護師の活用
施設（コミセン等）の活用

○若者

・若者が定住し安定した生活が送れるまち
⇒起業しやすくなるようネットワークを構築
地場産業の育成

○景観→観光

・鶴ヶ城を中心としたまち
・観光客が多く集まるにぎやかなまち
⇒鶴ヶ城周辺の整備
リピーターを増やすための施策
観光・農業・地場産業の連携・振興

○人材育成

⇒会津大学を中心としたIT産業の振興・人材育成

○インフラ整備

⇒都市計画の見直し
町内でコミュニケーションが出来る場所をつくる
商店街でコミュニケーションが出来る場所をつくる
公共交通機関の整備（交通弱者の移動手段の確保）
道路・上下水道・コミセン等の整備

【Eグループ】

◎全会津をけん引していけるまち

○環境・文化・歴史

・原発に依存しない再生可能エネルギーを求めるまち
・美しい自然を次世代まで残せるまち
・自然豊かなまち
・歴史、文化を市民一人一人が誇れるまち
・歴史、文化、芸術を大事にするまち
・郷土を思い語れる人が多くいるまち
・文化面で楽しさがあるまち
⇒歴史・文化を活かしたイベントの開催
市立美術館をつくる

1次産業への大胆な助成

○人情

- ・他人を叱れるまち
- ・思いやりのあるまち
- ・心を育めるまち
- ・人があたたかいまち
- ・ぬくもりのあるまち
- ・人の頑張りを応援できるまち
- ・移住する人が多いまち

○若者

- ・若者が定住するにぎやかなまち
- ・リーダーを育てるまち
- ・若者が地元に残れる活気溢れるまち
- ・中山地域の農業に希望がもてるまち
- ・失業者の少ないまち
- ・伝統工芸等のものづくりに携わる職人の多いまち

⇒活動しているサークル・団体への支援

若者の時間をつくる

サマータイムの導入

就業時間の見直し

優秀な指導者を招く

会津大学を総合大学にする

○子育て・医療

- ・子育てがしやすいまち、子供を産み育てやすいまち
- ・出生率が全国一のまち
- ・教育、医療に心配がいないまち
- ・県内、東北でもトップの子供教育を受けることができるまち
- ・病児保育が充実しているまち

⇒若い親達を支えるネットワーク・場づくり

○安心・安全

- ・高齢者や弱者にやさしいまち
- ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- ・孤独死、孤立死のないまち
- ・近所の顔が分かり、助け合うまち
- ・障がい者を支え合うまち
- ・弱者が安心してまちに出れるまち
- ・災害に強いまち（ハード・ソフトの両面で）

⇒町内会の充実

町内で支え合う仕組みづくり

企業による地域活動の励行

災害に対応する仕組みの事前構築・周知

冬場の対応が適切にできる体制づくり